

山武市市民提案型交流のまちづくり推進事業審査会  
令和元年度 事業成果（事業評価）報告書

令和元年度山武市市民提案型まちづくり推進事業審査会の審査結果を次のとおり報告いたします。

記

- |   |      |                                                                                      |
|---|------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 審査委員 | 11名                                                                                  |
| 2 | 審査方法 | 実績報告書による書類審査                                                                         |
| 3 | 審査団体 | スタート部門2団体                                                                            |
| 4 | 審査講評 | 各事業実施団体からの事業成果報告の評価は、2団体全てが当初提案された事業目的に沿った適正な活動であったと認められます。<br>各団体の事業評価内容は、別紙のとおりです。 |

## <スタート部門>

### ■ NP0 法人さんむ Video&Records プロジェクト

各イベントの主催団体と連携しながら、その取組内容を発信していこうとすることは、これからの地域活動の広がりにおいて必要不可欠なものと言えます。主催団体だけではできないことを、情報発信の観点からうまく補完できている事業であると思います。市補助金以外に、事業収益や寄付などからも収入を得ており、自立に向けた着実な動きをしていると評価できます。

地域情報の発信は、地域の魅力発信そのものでもあり、情報発信に協力する企業も十分な地域貢献となるため、働きかけの仕方によっては様々な連携が考えられます。事業目的の「市内の企業・団体との連携を深め、情報発信ができる協力体制の確立」がイベント主催団体のみに留まらず、もっと地域ぐるみで地域の魅力を発信していくことが期待されますので、ぜひその橋渡し役になっていてもらいたいと思います。

### ■ 特定非営利活動法人リンク

引きこもりというテーマに焦点を合わせ、その当事者および家族を支援するという点は、必要不可欠な取組みであり、公開講座や当事者・家族の会を重ねることで、相談・情報共有の場を作ってきたことは高く評価できます。

特に、この問題の実態を専門家の視点から語ってもらったことは、このテーマの周知化につながりますし、当事者・家族に即した支援の場が開かれたことは、声を発する場ができたことを意味しており、大きな前進と言えます。

関連団体との連携については、各団体がこのテーマについて、どのような取組みをしているのか、あるいはしていないのか、一定の分析を踏まえた上で、どのような連携が必要とされているのか、連携の内容を深掘りしていくことが必要と思われます。

また収支における補助金への依存は、今後の大きな課題と言えます。事業としての継続性を念頭においた工夫や今後の活動を発展させていくため、さらに地域に浸透した取組みになっていくことを期待しています。